

2018年 倉庫棚卸し

2018年3月5日、6日、12日、13日、14日に資材管理課を中心に潮見倉庫、八街倉庫等の棚卸しを実施致しました！

●今年の目的：「運用のための」棚卸し

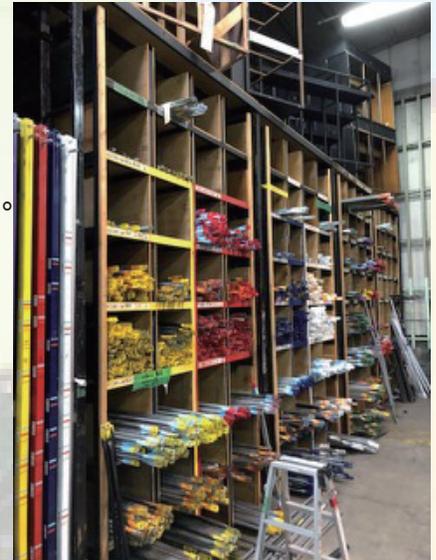
ただ数を数えるだけでなく、数を数えて年間を通して出入庫を記録し、日々の出入庫の中で過不足がないか確認するための棚卸しとする。
使用した記録がないものは、処分を検討し、日々の中で不足が見られるものは買い足すなど計画が立てられるようにする。

●実施内容

八街倉庫：特殊平台の整理（アクリル平台・エキスパンド平台など）
トラス、シルクロード等の整理
潮見倉庫：鉄脚の整理（定型・はしご脚・受け・筋交い）
平台全般・手摺一式・階段一式の整理
イントレの整理（杵・アンチ・クランプなど）
ライザー・キレパネ類の整理

●今後の課題、目標

今回、主に潮見に注力したため、八街が少し手薄だったと感じた。
・角度サイコロやスペーサーなどの整理を進めていきたい。
(在庫情報をシンセイトランスポート社ときちんと共有し、「あるはずなのにない」を防いでいきたい。)
・750角小物
在庫を出すと同時に、片付け・管理のフローを作っていくたい。



▲部材が整理された事により、準備等もやりやすくなりました！



浦安工場繁忙期対策

繁忙期に向けて製作部では工場内の整理、整頓を行っています。
製作物で工場が溢れる前に、積み日ごとに無駄がないよう倉庫内に移動し、どこに何があるかわかるように専用のホワイトボードに記入することを製作部全体で行っています。
これにより積み忘れなどの防止にもなっています。



▲ホワイトボードにどこに何があるかを写しているため積み忘れなどのミスを防止しています！